

自分だけの旅の手帖を作る

旅への欲求は多くの人が持っている。定番の観光地巡りもいいが、自分だけの旅があってもいい。そのためには下準備が大切。活用すべきものは多々ある。



クリアファイル大王になる

昼夜を問わず、最近では多くの人が、目指す場所の地図を印刷して繁華街やビルの谷間を往来している。そんなとき、もっぱら見かけるのはグーグルマップなどを印刷したものだが、そのまま紙をむき出しにして

いる人がほとんどだ。
飲食店を目指すだけならばそれでいいが、街歩きやハイキング、さらには史跡探し、歴史探訪の旅など、

辿り着いた先、辿り着くまでの道程を楽しむ余裕がある旅ならば、活用すべきなのがクリアファイルだ。

地図や、行った先々で手に入るパンフレットなどをクリアファイルに入れておけば、カバンやナップザックの中で、大きさの異なる紙類が散らばることもない。しかも、地図、目的地周辺のお店の情報、近隣の温泉宿の情報、神社仏閣、名所旧跡など、それぞれのピックアップごとにできるだけ細かく、そして惜しげなくクリアファイルに情報を小分けするの

が活用のポイントになる。

ただ、原則は「法則はない」。自分なりに自分だけの使い勝手を創造しなければ、決して役に立たない。クリアファイルは百円ショップから十枚単位で売っているし、ホームセンターの事務用品売り場では五十枚単位で格安で置いてある。なんといっても、ファイル活用の要諦は情報をできるだけ小分けして、かつ小分けした情報を一手にまとめることなので、できればファイルは数多く、手元に用意したい。つまり、クリア

ファイル大王になることがお勧め。

また、未使用のものを旅先に持っていくことで、現地で新しく入手した地図や資料などを入れるのにも役立つ。神社仏閣の拝観券など小さな

紙片でも、挟んでおくだけで紛失しない。

情報を小分けにすると、一つの目的地に関するファイルは、ときに五枚、十枚、十五枚と数が増えること

になるが、そうしたファイルを合わせて、再び一枚のファイルに挟むことでまとめてしまえば、手元のファイルは一つに収まる。車の運転中、ときに片手で助手席の地図やファイルに手を伸ばす必要があるときでも、手元や足元で、はずみで紙が散ってしまうのを防ぐことにもつながる。

用法の極意は、小さな情報をまとめて、大きな情報を立体的に創る。ことにある。小さくトピックごとにまとめた情報をすべて小刻みにすることで、整理しやすくして、そのファイルを上から下まで好みのままにシヤッフルし、自分好みに並べ替える。同じ目的地向かう場合でも、自分だけのオリジナルの旅程、行路、そして何よりも情報を立体的に把握することにつながるのだ。

自分だけの旅を演出する最大の下準備は、実は、現地に赴く前に、いかに、どこまで情報を「立体化」できるかにある。

旅を思いつくのは、さまざまだろう。テレビのグルメ番組を見ていて思い立つこともあれば、雑誌のグラフィック、新聞記事など、旅先の情景は不意に飛び込んでくるもの。だが、テレビにしる活字の媒体にしる、さ



自分だけの「旅の手帖」作りの基本はクリアファイルの大量活用。テーマを小分けするので惜しみなく使う。ホームセンターなどでは50枚、100枚単位で売っている

クリアファイル活